

基礎研 レター

健康経営は継続的な取り組みが重要

金融研究部 研究員 森下 千鶴
(03)3512-1855 mchizuru@nli-research.co.jp

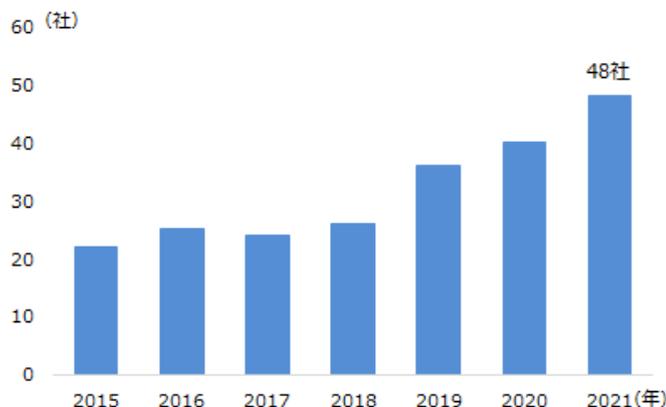
2021年3月4日に「健康経営銘柄 2021」が発表された。7回目となる今回は29業種48社が選定され、そのうちの6社は2015年の表彰開始から7回連続の選定となった。

従業員等の健康維持・増進に取り組むことは、企業のブランド力向上、業務の生産性をあげる等の好循環をうむための一つの手段である。健康経営の効果は業績や株式価値に即座に反映されるとは限らない。しかし、継続的に取り組むことで、組織の活力や生産性が向上し、その結果として将来の企業価値向上や株式価値向上に繋がるのが期待される。

■評価ポイントはPDCAサイクルの確立

「健康経営¹」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することを指す。経済産業省と東京証券取引所は、日本再興戦略に対する取り組みの一環として、「健康経営銘柄」を選定し、2015年から毎年表彰している。2021年は29業種48社が選定された。

図表1 健康経営銘柄表彰企業数の推移



(資料) 経済産業省、東京証券取引所から作成

¹ 「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標

2021年に選定された企業の取組みを見ると、企業グループを横断した健康経営推進チームの組織、健康管理システムの運営、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策に関する具体的な目標数値と行動指針を定めている企業が多い。さらに、これらの行動指針を定めたうえで、PDCAサイクルを回すことにより着実に数値が改善している企業が目立つ。

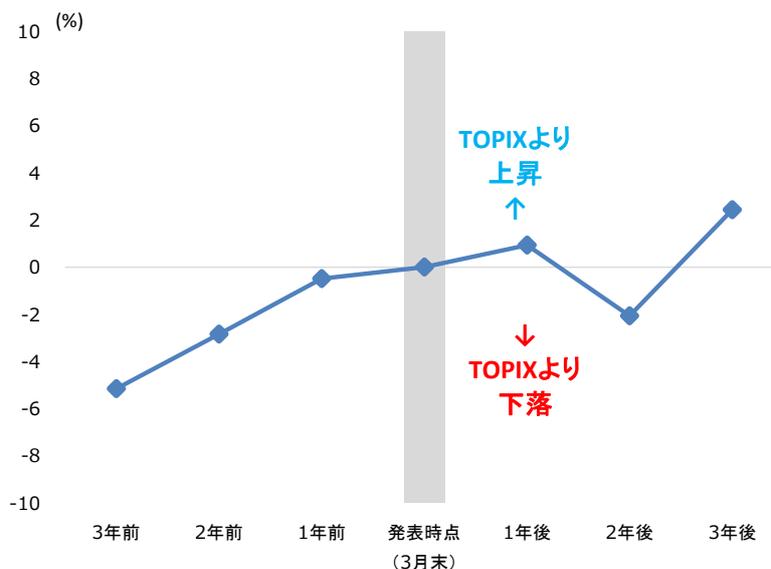
また、連続で「健康経営銘柄」に選定されている企業のなかには、健康経営銘柄選定を受けるまでの過程で得られたノウハウや知見を、社内のみではなく、講演等を通して他社に提供しようという先進的な取り組みをしているところもある。

■企業の健康経営度の高さは株式価値に反映されるか

健康経営銘柄に選定された企業について株式市場はどのように評価しているのだろうか。

図表2は健康経営銘柄に選定された企業の選定前後の超過収益率をまとめたものである。2015年から2018年の4年間に健康経営銘柄に選定された企業の合計97社のうち複数年選定された企業の重複分を除いた50社を用いて集計した。企業ごとに健康経営銘柄に初めて選定された年の3月末の株価を基準として選定前3年、選定後3年の各年度ごとに対TOPIX（配当込み）年間累積超過収益率を計算し、50社の単純平均をとっている。

図表2 「健康経営銘柄」選定企業の累積超過収益率



(注) 2015年から2018年に健康経営銘柄に選定された企業97社のうち重複分を除いた50社。初めて選定された年の3月末時点の株価を基準として対TOPIX（配当込み）年間累積超過収益率を計算したうえで、50社を単純平均

(資料) 経済産業省、東京証券取引所、QUICKから作成

健康経営銘柄に選定される1～3年前はTOPIXを劣後する傾向が見られたが、健康経営銘柄に選定された1年後はTOPIXをやや上回る上昇となった。それ以降は2年後はTOPIXに劣後したが、3年後はTOPIXを上回って上昇する傾向が見られた。

健康経営銘柄に選定されたということは、健康経営への取り組みが従業員一人一人の活力向上や組織活性化につながっていると評価されたということだ。もちろん、単年度の株式価値には、業績や金融政策といった要因が大きく影響する。それでも、企業の健康経営度の高さが、組織活性化や生産性向上を通して、少なからず株式価値の向上にも影響していると言えるかもしれない。

■長期的な視点での企業価値向上、株式価値向上に期待

今回、健康経営銘柄に選定された48社のうち6社は7回連続で選定された企業である。この6社については、健康経営に関する積極的、継続的な取り組みが実施されており、健康経営銘柄に選定された企業のなかでも特に取り組みが形式・中身ともに伴っている会社と考えられる。そこで、最後にこの6銘柄に2010年3月から金額均等投資した場合の時価の推移をTOPIX（配当込み）と比較したところ、時価は安定的にTOPIXを上回っていた（図表3）。

図表3 長期的な株式価値・企業価値の向上に期待



(注) 7年連続健康経営銘柄に選定された6銘柄に等金額で投資。2010年3月末を100として指数化
(資料) 経済産業省、東京証券取引所、QUICK から作成

健康経営銘柄に7回連続選定されることは、以前から従業員の健康管理を経営戦略の一環として取り組んでいた企業でなければ難しいだろう。株式市場は、企業の健康経営への取り組みと効果について、その努力の成果を長期的に反映していく、つまり、継続的に従業員等の健康維持・増進に取り組む、それが実際に企業のブランド力、業務の生産性、業績の向上につながり、結果的に将来の企業価値向上や株式価値向上につながるということをあらわしているのかもしれない。

以上

<参考> 健康経営銘柄 2021

銘柄コード	企業名	選定回数
1332	日本水産	3回
1605	国際石油開発帝石	2回
1887	日本国土開発	2回
2412	ベネフィット・ワン	2回
2502	アサヒグループホールディングス	4回
2651	ローソン	4回
2768	双日	初
2802	味の素	5回
2871	ニチレイ	2回
3289	東急不動産ホールディングス	2回
3591	ワコールホールディングス	6回
3891	ニッポン高度紙工業	2回
4013	日通システム	初
4204	積水化学工業	初
4452	花王	7回
4461	第一工業製薬	2回
4506	大日本住友製薬	初
4543	テルモ	7回
4689	Zホールディングス	3回
4901	富士フイルムホールディングス	初
4902	コニカミノルタ	6回
5195	バンドー化学	4回
5332	TOTO	7回
5471	大同特殊鋼	初

銘柄コード	企業名	選定回数
5957	日東精工	初
6078	バリューHR	初
6271	ニッセイ	初
6448	ブラザー工業	4回
6508	明電舎	初
6645	オムロン	3回
6702	富士通	初
7203	トヨタ自動車	初
7701	島津製作所	初
7751	キヤノン	3回
7911	凸版印刷	2回
8015	豊田通商	初
8252	丸井グループ	4回
8411	みずほフィナンシャルグループ	4回
8566	リコーリース	5回
8601	大和証券グループ本社	7回
8630	SOMPOホールディングス	3回
8766	東京海上ホールディングス	6回
9005	東急	7回
9104	商船三井	初
9432	日本電信電話	初
9502	中部電力	初
9687	KSK	3回
9719	SCSK	7回

(注) 銘柄順

(資料) 東京証券取引所から作成

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。